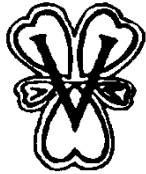


福島市ボランティア連絡協議会便り



第102号 令和 8年 1月 28日
発行責任者 福島市ボランティア連絡協議会
会長 佐藤 寛
Tel 533-2821 Fax 533-8879

2026年 今年もよろしくお願いたします

新年おめでとうございます。新しい年を迎え、皆さまお元気にお過ごしのことと思います。

本会は昨年6月、「福島パソコン要約筆記」さん（佐藤有子会長・2002年設立・会員25名）を新たなメンバーにお迎えし、現在、6サークル、個人会員7名で活動中です。

昭和51年に設立した本会も、多くの皆さまのあたたかなご支援ご協力のもと、今年で50年目を迎えます。

今年も皆さまとともにボランティア活動の推進につとめていければと思います。変わらぬご支援ご協力の程お願い申し上げます。



デフリンピック サッカー競技
オープニングセレモニー・日本男子初戦

（令和7年11月14日 Jヴィレッジ）

～令和7年度 これまでの活動～

総会・ミニ研修（万葉のころ）

令和7年5月14日

令和7年度の総会・ミニ研修を、17名の会員の皆さまの出席のもと、福島市市民センターで開催しました。

ご来賓に福島市社会福祉協議会事務局長 宗像正彦様、同地域福祉課課長 佐藤騰一郎様をお迎えし、ご挨拶をいただきました。だれもが住みよい共生社会の実現のため、市民によるボランティア活動に対する期待のお言葉もいただき、今後の活動への気持ちも高まりました。

総会后、みちのく万葉の会会長 矢吹武様より、「万葉のころ」についてご講話いただき、昔も今も人を想う気持ちに変わりはないことなどを感じることができました。



～ 福島市社会福祉協議会
宗像事務局長様のおことば～

お忙しい中、ご臨席賜りました
ご来賓の宗像事務局長様、佐藤課長様、
講師の矢吹先生、出席された会員の皆さま、
どうもありがとうございました。



～ 矢吹先生から万葉集について学ぶ参加者～

研修会Ⅰ 中間貯蔵施設見学会 令和7年7月17日

昨年度に引き続き、震災の被害や復興についての学びを深めるため、令和7年3月に大熊町に新設された「中間貯蔵事業情報センター」及び「中間貯蔵施設」を19名の会員が訪問しました。今回、除去土壌を首相官邸に移動する2日前の訪問となったため、参加者の問題意識も高まり、より興味深い見学となりました。

はじめに、職員の方から中間貯蔵事業についてのお話を伺ったあと、見学用のマイクロバスに乗り、立ち入り制限区域内の中間貯蔵施設を見学しました。車窓から、震災の被害を受けた、当時の状態のままの高齢者介護施設の事務所内や、魚の研究施設の外観を見学し、震災の被害の甚大さを改めて感じることができました。また、除去土壌を埋め立てた場所に実際に立ち、その広大さにも圧倒されました。2045年3月までに県外最終処分場に移転との話に、復興までの道のりの長さ、今もまだ復興の途中であること、今なお残る悲しみを実感しました。百聞は一見に如かずともいえます。残念ながら今回参加できなかった会員の方も、施設で定期的開催されている見学会に参加してみたいか（参加者が5名以上の場合、個別の見学会も行ってくださっています）。

～ 感想 ～

今回の見学会は、関心がありながらもなかなか行けない者には有り難い機会でした。福島県にも県民にも懸案事項であるはずですが、実際に見て、説明を聞いて初めて分かる事が多かったと思います。現地で働く方達のご苦労あってこれほどになっていると実感しました。

ただ被災地を訪ねるといつも思う事ですが、町作りははじまっているとはいえ、10数年たっても中心地に数えるほどの施設、人気のなさ。行政が頑張っているだろうとは思いつつ、人口が戻ることの難しさは感じさせられます。

ボラ協の構成団体が共に見学できて大変よかったのですが、参加者は高齢者ばかり。原発事故の後始末の最中にある土地のことを過去の記憶のように扱わないためには、やはりたくさんの若い人たちに体験してもらわないと、とも思いました。

お世話下さった皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

（図書ボランティアの会 代表 中西郁子さん）



（職員の方より事業の説明）



（現地の放射線モニタリング）



（福島駅前での街頭募金活動）

～ご協力ありがとうございました～

10月8日、国体記念体育館で行われた福島市障がい者スポーツ大会への協力（2名）、10月11日、福島駅前広場での赤い羽根共同募金・街頭募金活動（5名）、10月18日、道の駅ふくしまでの「ふれあい広場」におけるPR活動・ポッチャ、クロリティ体験・手引き体験（11名）。今年も会員の皆さまのご協力のおかげで、それぞれの活動を行うことができました。ご協力どうもありがとうございました。